

## 自然賛歌

## 松竹梅

妹尾 治人

松竹梅は新年の門松を初めとし慶事には欠かせない物であり、万葉の昔からめでたい縁起ものとして定着している。今回の自然賛歌は正月に因んで松竹梅に登場してもらった。

松は「不老長寿」の花言葉もあり松竹梅のなかで最も翼に格付けされている。松は北半球に広く分布しているが日本の松は赤松と黒松が主流である。赤松は東日本に、黒松は西日本に多い、日本三景の松島は赤松、宮島は黒松、天橋立には赤と黒とが混生している広島県では島しょ部沿岸部に黒松、内陸部には赤松が多く見られる。

廿日市市で現存している松の巨木は大東の西国街道松、地御前西向寺の蓮華松、天神の天満宮の松、この三つが特に大きい、文化財指定の原、末川家の猿猴松は平成二年に、後畑河内神社の赤松は平成十一年に惜しくも枯死してしまった。

松は建築材、庭木、盆栽にまた松の葉は薬用利用される。ところで秋の味覚の松茸は廿日市市でも沢山とれていたが、松枯れによ

り幻のものとなってしまう。近年公害に強い松が開発されたので、松茸発生の環境を作ってやれば復活させることが出来るのではないかと思う。いや是非とも復活させたい。

竹は勢いよく真直に伸びることから喜ばれる。孟宗竹、真竹、ハチクがよく知られているが、その他に沢山の種類があり二〇種類程度に及ぶ。それに笹が一〇種類程度ある。竹と笹の区別は笹の皮（桿鞘）が落ちるのが竹いつまでも付着しているのが笹と言われているが矢竹等の例外もある。

竹は軽くて丈夫なので竹竿、カキ筏、竹細工に、笹は食用に竹の油（竹瀝）は喘息、痰切の薬に、最近竹炭が人気を呼んでいる。

梅は冬のうちから咲き始めその花の気品と香りは日本人好みのもので喜ばれている。

東風吹かば匂いおこせよ梅の花

主なしとて春な忘れそ

菅原道真

この歌は左遷された道真がその心情を詠んだもので、道真を祭神とする天満宮には必ず梅の木が神木として植えられている。

梅は梅雨の時期に収穫し梅酒、梅干しにされる。下痢、腹痛、頭痛、気付け等の薬効もあり昔より健康食品として重宝されている。

梅の種類は野梅系、紅梅系、豊後梅系があり園芸種も数多く作られている。梅の木は堅

くて美しいので彫刻材、ソロバンの玉、碁筈等の細工物に利用されている。

松竹梅 いずれも吉祥のもので門松は日本の正月の風物詩であるが戦争末期に門松廃止のお触れが出たのを思い出す、その理由は松丸太は炭鉞の坑道用に、竹は槍や食器に、梅は梅干しにする為で大事な軍需物資を切つてはならないと言った。

新世紀を迎えるに当り過去の戦争を反省し核のない平和を祈願してやまない。

”門松に平和を祈る春の朝”

(自然観察指導員)



佐方八幡神社の門松

奉 献